紀伊民報
昭和21年7月10日第3種郵便物認可
2016年(平成28年)10月22日 土曜日 第22264号

22日開幕、32チーム参加

高校サッカー和歌山大会

第95回全国高校サッカー選手権和歌山大会（県高校体育連盟、県サッカー協会など主催）が22日、32チームが参加して開幕する。

「選手権」は夏の総体（インターハイ）と並んで高校生が目標とする大会で、3年生にとっては最後を締めくくる舞台となる。

22、23日の和歌山大会1、2回戦は那賀高（岩出市）、粉河高（紀の川市）、県和歌山高（和歌山市）のグラウンドである。28～30日の3回戦と準々決勝は田辺スポーツパーク（田辺市上の山1丁目）と上富田スポーツセンター（上富田町朝来）で。11月5日の準決勝と11月13日の決勝は紀三井寺陸上競技場（和歌山市）である。

優勝チームは12月30日～来年1月9日に埼玉県などである全国大会に出場する。

紀南8校の紹介

【南部】

3年生を含め選手13人と少ないが、チームワークが良く、リードされていても最後まで諦めずに声を出す。まずは初戦突破を目指す。

成岩太郎主将（3年）　3年生にとっては最後の大会なので、悔いのないように自信を持って試合に臨みたい。

【田辺】

3年生が全員引退したが、組織力と粘り強い守備が身上。前線からのプレスでボールを奪い、中盤で時間をかけて相手に揺さぶりをかける。

森本優治主将（2年）　夏を乗り越えてメンバーが自信をつけた。優勝が目標だが、まずはベスト8を目指して力を出し切る。

【神島】

3年生が全員引退し、1、2年生にもけが人が出ている。中央からサイドに展開するなど中盤でいい形をつくり、得点を狙う。

山本大貴主将（2年）　一つでも多く勝つことが目標。寄せの速さや当たりの強さでボールを奪いたい。

【田辺工業】

選手17人中11人が1年生で、将来が楽しみなチーム。楽しくプレーしつつも勝ちにはこだわる。一丸となって勝利を目指す。

田畑徳章主将（3年）　目標はベスト4。まずは先制点を取って自分たちの流れをつくりたい。

【串本古座】

進学や就職の活動から戻ってきた3年生の活躍に期待。1、2年生も経験を積み、力をつけた。カウンターで得点を狙う。

久堀蓮主将（2年）　少人数だけどにぎやかなチーム。前線からしっかり走って守備を頑張り、まずはベスト8に入りたい。

【新翔】

選手17人中、9人いる3年生の活躍が鍵。パスをつないで得点を狙い、ベスト4入りを目指す。

橋野寛人主将（3年）　少人数だけど一つ一つの試合をしっかり勝ちたい。最後の大会にすべてを出し切る。

【新宮】

優勝を目標に3年生が11人残った。攻撃型のチームで、素早く相手の背後を取り、サイドからの攻撃で得点を狙う。

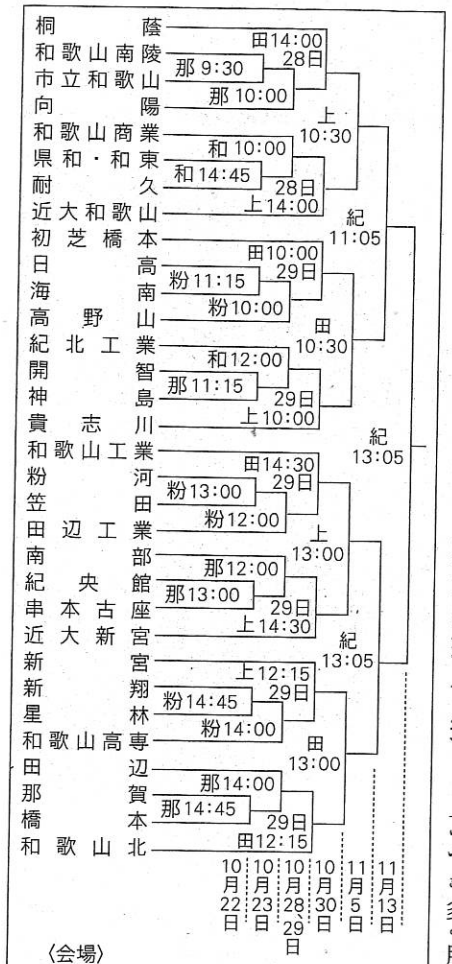
瀬川裕貴主将（3年）　今まで支えてもらった人に感謝し、3年間の集大成として最高のパフォーマンスを見せたい。

【近大新宮】

寮生活の選手12人のほとんどが田辺・西牟婁出身。夏の総体予選で足りなかった部分を補うように練習に励んできた。組織力で優勝を狙う。

寺本海主将（3年）　チームは仲良くていい雰囲気。悔いが残らないように全力でプレーし、本来の力を出せるよう大会に臨む。

決勝は11月13日



〈会場〉
那…那賀高校　粉…粉河高校
和…県立和歌山高校
上…上富田スポーツセンター人工芝
田…田辺スポーツパーク
紀…紀三井寺陸上競技場